

セルフレジで感じた寂しさ

母とショッピングセンターに出かけたときの話です。洋服屋で服を買いにレジへ向かったときに私の目に入ったのは、ただ機械が並んでいる光景でした。

セルフレジでお金を払い、袋に入れるのも自分たちだけでしなければいけませんでした。便利で効率的ですが、「ありがとうございました」の表示が私にはとても寂しく思えました。

全て機械になってしまふと、レジを打つ店員さんの優しい気づかいもなくなります。そういうちょっとしたふれあいが減ることで、私たちはコミュニケーション力を失っていってしまうかもしれません。

生活を便利にするためのささいな変化が人間に大きな影響を与えることは、私は良いとは思いません。なので、私はセルフレジより以前の普通のレジがいいと思います。